

年度報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

小笠原島漁業協同組合

令和2年度 業務報告

【施設の利用案内・受付】

- 指定施設の利用案内を作成、周知し、受付を実施した。その際に入出港届等の書類提出義務の告知を再度、要約して配布した。

【指定施設の利用許可】

- 利用許可の決定を行い、利用者に利用許可書及び承認ステッカーを交付した。

【利用料金の収受】

- 別紙利用料金収入のとおり。

【施設の維持管理】

- 日常的に清掃、巡回を実施。台風、強風、大雨後日にスロープ等の清掃を実施。
- 東京都が実施した利用に関するアンケートの配布、回収について協力した。
- とびうお棧橋水道施設の修理を依頼、実施した。
- 管理区域内の駐車状況の改善を促した。
- 船舶の有無、利用確認を行う。

【その他】

- 稼働状況の少ない船舶の所有者に対し、施設利用の解約を勧めた。
- 利用者同士の利用場所の交換を受付、許可を行った。

施設の管理状況

管理状況の総括

- ・ほぼ毎日朝・昼・夕方に見回りを行った。
- ・台風時などは、利用者や遊漁部と連携し、迅速な養生・被害対処の呼びかけを行い、施設の安全管理を徹底した。また、台風通過後の見回りや漂着物の回収も行った。
- ・施設の利用方法について、利用者に現場で指示、指導、説明を行った。同時に要望の聞き取りも実施した。
- ・域内駐車について指示・指導を行った。

非常時等の対応

日付	業務内容	岸壁	栈橋 1	栈橋 2	船揚場	船揚場(2号)	前面泊地 護岸(オイルフェンス横)	前面泊地 護岸(保安署横)	前面泊地 護岸(赤間裏)	前面泊地 護岸(野積場前)
4月20日	・漂着物の回収 ・見回り				●	●				
5月8日	・漂着物の回収				●	●				
5月24日	・漂着物の回収					●				
6月6日	・漂着物の回収 ・(連日の南風の為漂着ゴミ多数)				●	●				
6月24日	・漂着物の回収				●	●				
6月25日	・利用者の車輛の駐車状況指導					●				
7月16日	・漂着物の回収					●				
8月11日	・漂着物の回収				●	●				
9月1日	・台風養生呼びかけ実施(台風10号接近に伴い)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9月4日	・漂着物の回収 ・見回り(台風10号通過後)				●	●				
10月6日	・見回り(台風14号接近に伴い養生等状況確認)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10月9日	・見回り(台風14号通過後)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月17日	・漂着物の回収 ・共用部分の除草、清掃				●	●				
11月17日	・水道栓蓋、鍵修理		●	●	●					
12月19日	・漂着物の回収 ・見回り					●				
1月9日	・漂着物の回収 ・見回り				●	●				
2月19日	・漂着物の回収 ・見回り ・大型プラスチックごみ回収					●				
3月21日	・漂着物の回収 ・見回り					●				

※ 日常の清掃、点検以外に、漂着物撤去、点検、台風への対応等を行った施設について、●印を付けている。

指定管理者アンケート結果（令和2年度）

（単位：件）

配布数	回収数	回収率
95	65	68%

（単位：件）

十分満足している	まあ満足している	やや不満である	かなり不満である	未回答
29 (45%)	31 (48%)	4 (6%)	0 (0%)	1 (1%)

【主な意見・要望】

1 施設整備に関する意見・要望

- ・船揚場の係船環の位置を改良、増設してほしい。
- ・地面（コンクリート）が割れたり、平面になっていないところがあり危険。
- ・干潮時でも上架できるようスロープの長さを改善してほしい。
- ・サンゴが成長し、船底や船外機に接触してしまい、上げ下ろししにくい。水深確保の工事をしてほしい。

2 施設管理に関する意見・要望

- ・使用マナーの悪い利用者が見受けられる。関係ない物について片付けるよう指導してほしい。

【意見・要望の考察】

1 施設整備について

- ・船揚場1号の係船環の位置改良は平成31（令和元）年度中に完了したため、一定の利便性向上が図られている。
- ・地面が割れている箇所や平面になっていない箇所については状況を確認し、修繕を行っている。規模が大きなものは、上架施設（スロープ）の改修とあわせて実施可能か検討をしていく。
- ・スロープの改良については、実施に向けて検討を進めている。
- ・サンゴの成長により係留等の支障となるため、水深確保のための除去は毎年実施している。

2 施設管理について

- ・利用者のマナー向上については指定管理者が日常的に注意・指導を行っている。引き続き注意喚起を徹底するよう、都としても指定管理者に指導していく。

漁港施設事業報告書
(令和2年度)

令和3年4月

団体名 小笠原島漁業協同組合

I 収支報告

1 収入

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
利用料金		6,089,600
利用料金収入	岸壁、棧橋、船揚場、泊地の利用料金収入	6,089,600
計 (A)		6,089,600

2 支出

(単位：円)

項 目	主 な 用 途	金 額
人件費	現場に配置されている職員等の経費（給与、諸手当、法定福利費、厚生費など）	5,520,000
事業費		546,737
光熱水費	ガソリン代他	132,000
備消耗品費等	コピー用紙等消耗品、備品、修繕費等	318,285
役務費等	利用案内郵送料、電話代等	89,452
その他経費	収入印紙等	7,000
計 (B)		6,066,737

3 収支差額

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
収支差額	(A) - (B)	22,863

Ⅱ 財務諸表（抜粋）

（単位：円）

科 目		金 額
漁港管理委託事業収益		6,089,600
	漁港管理委託事業収入	6,089,600
漁港管理委託事業直接費		6,066,737
	漁港管理委託事業支出	6,066,737
漁港管理委託事業総利益 （収益 － 直接費）		22,863